

2021年第4回定例会最終日の本会議における討論

2021年12月15日 奴間健司

第94号議案 「古賀市と新宮町との乳幼児健康支援一時預かり事業に関する事務の委託に関する規約の廃止について」賛成の立場で討論します。

これは鹿部保育所内で2005年にスタートした病後児保育を廃止しようというものです。病気回復期の児童を家庭で育児できない場合に、鹿部保育所内に設置された「おひさまルーム」でお預かりしてきた事業です。保護者の切実な声に応え、これまで16年間にわたって病後児保育を担ってきた関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。

古賀市では2017年に福岡東病院で、2019年に「こでまり小児科クリニック」で病児保育がスタートしました。病児保育の利用者数は2017年度249人から2020年度310人と大きく伸びています。2021年度は600人を超す勢いようです。特にこでまり小児科が89%を占めています。

一方、病後児保育は2017年37人、2018年33人、2019年29人、2020年8人と減少してきました。

病後児保育を廃止する理由は、病後児と病児の線引きが難しいことや利用者数が減少したこと等があげられます。

特に、こでまり小児科クリニックが病後児保育も対応していただけることは大きな安心につながります。

「おひさまルーム」における病後児保育を廃止しても、当面は利用者に不利益は回避できると思います。病児、病後児保育の受け入れ体制のサポートは必要だと思います。

しかし、こでまり小児科の利用者がさらに増加し、病児、病後児保育の利用をお断りしなければならぬ事態が危惧されます。お断りするケースは今年度、40人を超す可能性があるようです。

既存の病院や保育所、幼稚園に病児保育をもう1か所設置することをめざす必要があると思います。

こでまり小児科の利用増を見ても、子育て世代の需要は大きいことがはっきりしています。古賀市の地域バランスも考慮し、病児、病後児保育の環境を拡充することは、子育て世代が古賀市を選んで住んでいただける大きな条件にもなります。

その点を申し上げ、賛成討論とします。